

認知症作業療法 活動・報告計画 (概要)

三重県作業療法士会では、H29年度より「認知症作業療法推進委員会（以下、委員会）」を設置。R2年度の活動目標を「認知症OTの地域活動チャレンジ」と掲げ、以下の2つの柱をもとに、活動中。今年度から委員会活動ごとに5つのチームに分け、さまざまなチームや団体とコラボし活動していく。今年度においては、新型コロナウイルス感染症による対策として、活動をオンライン中心とし、市民をはじめ、OT県士会員の安全・安心の環境を整えたうえで活動していく。

① オンライン勉強会チーム

毎月1回オンラインを活用し、学習したこと、研究テーマ、事例検討、臨床での困りごと、伝達研修などについて、認知症作業療法推進委員会メンバーが輪番制で発表・話題提供を行っていく。また、他県、他分野からも講師を招き、三重県士会員のスキルアップを図る。

② 研修会チーム

アップデート・スキルアップ等、県士会規模研修の企画・運営を担当。今年度はスキルアップ研修として、鹿児島大学の田平教授を招き、OTだけでなく、他職種や行政など地域に携わる多セクションを対象に含め、認知症の人のIADLを工程分析して、介入につなげるための視点をご教授いただく予定。

③ 協働仲間づくり、次世代の育成チーム

推進委員と、県下の認知症に携わるOTとのネットワーク作りを進めるため、SNS情報共有・相談ツールとして活動している有志団体「みえーる認知症OT!」と連携し、認知症勉強会を実施すると共に、地域活動チャレンジにつなげるための周知・啓発を行う。

Mission1:
知識と技術の研鑽の場づくり

認知症OTの
地域活動
チャレンジ!

Mission2:
OTが地域に出て活動するための仕組み作り

④ 回想法を活用した地域づくりチーム

協働仲間づくり・次世代の育成チームとコラボし、毎月1回「OTオンライン回想法」を実施。次のステップは、地域チャレンジとしてメモリーカフェ'日永'への派遣、また現在参加メンバーと災害支援における回想法を含めた課題の整理・介入方法を検討中。

⑤ 関係機関との連携チーム

- ・ **認知症の人と家族の会**：OT2名が若年のつどいの世話人を担当（うち1名は代表）。OT2名が全国研究集会 in 三重の実行委員会を担当。
- ・ **メモリーカフェ'日永'**：H28年度より、毎月「認知症の人への回想法実践」を実施中。OT数名参加。5月からオンライン回想法を当事者・家族に実施。6月は災害支援を視点にさまざまな団体と協働で、5会場に分かれて実施。8月以降も継続予定。
- ・ **地域リハビリテーション部**：鳥羽市での地域ケア会議に、輪番体制を設立し、OT派遣を実施。
- ・ **事業部**：「いつまでも運転が続けられるように」をテーマに、津・名張市で警察の方と講演を実施。
- ・ **三重県リハビリテーション情報センター**：伊勢市・川越町から「回想法実践」の依頼を受け実施。

OTオンライン回想法



メモリーカフェ'日永' オンライン回想法



今後：リアルとオンラインを併用しつつ地域課題に着手していく